

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月11日

評価対象年度：平成19年度				管理	5-10-1-2
事務事業名 安達太良ドリームライン(大山・松沢線)整備事業【馬場・根岸工区】				部等名	産業建設部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	地方特定道路整備事業	課等名
	一般	01-080203004	細々目名		係等名
政策体系	基本目標	5	安全・安心な環境のまちづくり		
	施策	10	幹線道路網(県道、都市計画道)の整備		
	基本事業名	1	幹線道路の整備		

事業概要・実施内容	事業計画に基づき幹線道路の大山・松沢線の整備をする。事業概要は、1期整備区間(国道4号線から長屋平交差点)および安達太良大橋の事業完了に併せて、周辺の市町村(二本松I.Cと船引・三春I.C)を結ぶ広域交通道路とし整備を図るものである。さらに、歩道が未整備で危険な白岩小学校周辺の通学路整備も図る。全体事業(H19~H28)内容：施工延長L=780m、幅員W=6.0/10.0mの改良舗装工事(一部橋梁区間)と用買等。本年度(H19)実施内容：用地買収・物件補償(すべての用地買収・物件補償はH21年度で完了予定)、地質調査、河川測量、改良工事【暫定盛土および法覆工事】は繰越工事(H20.5.20)となる。				
根拠法令等	道路法 道路構造令	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業		
		評価区分	<input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定(18年度~28年度)	
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費 448,000円	22 補償補填及び賠償費 30,224,000円
	7 賃金	円	13 委託料 3,466,000円	
	8 報償費	円	15 工事請負費 4,410,000円	
	9 旅費	円	17 公有財産購入費 23,402,000円	
				合計 61,950,000円

1. 事務事業の現状把握(Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象(誰を、何を)		イ) 市民(土地等関係者も含む)及び一般道路利用者		ロ) 道路
手段(事業の具体的な内容、手順等)		活動指標名・式(アウトプット) 活動の大きさを表す指標		
認可協議(本年度申請) 要望協議(次年度概算要望) 本年度事業の執行(関係機関との協議、用地買収・物権補償、工事等の設計、契約、着手、施工管理、設計変更、検査、引渡し、支払) 改要望協議(次年度本要望) 完了実績報告		指標(1)	名称	用地買収面積・補償件数
		指標(2)	名称	
意図(対象を、どのような状態にしたいのか)		成果指標名・式(アウトカム) 意図の達成度を表す指標		
幹線道路の整備により、地域の発展と市民の安全・安心で快適なまちづくりを促進する。現在、大山・松沢線は、幅員狭小で大型車輛等(道路利用者)の通行に支障を来しているで道路幅員を広げ、歩車道分離を図り、大型車輛の通行や学童等の安全な歩行を可能にしたい		指標(1)	名称	整備率(事業費)
		指標(2)	名称	用地買収率(事業量)
事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか		式 当該年度までの事業費(H18~)÷全体事業費(614百万円)		
通行車輛や歩行者等の円滑で安全な通行を確保することにより、危険箇所(幅員狭小・道路屈曲)を起因とする交通事故は減少・撲滅され、安全・安心なまちづくりの環境が整備される。		式 当該年度までの買収延長÷全体延長(780m)		

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度(実績)	年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込み)	28年度(最終目標)	
指標	活動指標(1)	戸数			2	1		
	活動指標(2)				400	600		
	成果指標(1)	%			31.3	45.2	100	
	成果指標(2)				83.3	88.5	100	
投入	事業内訳	財 国・県支出金	千円			15,529	14,391	19,030
		地方債	千円			42,300	61,400	11,000
		その他	千円					
		一般財源	千円			4,121	9,402	4,570
	事業費計(A)	千円			61,950	85,193	34,600	
人員費	職員数	人			0.3	0.3	0.3	
	人件費平均額(年)	千円			8,373	8,373	8,373	
	人件費計(B)	千円			2,512	2,512	2,512	
	総事業費(A+B)	千円			64,462	87,705	37,112	

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか?
本線と連結する大山・松沢線の1期区間(国道4号線から和田小学校・安達太良大橋)が完了(平成16年度)したことで、今回の整備区間【馬場・根岸区間】への乗り入れ車輛が増加し、通行に支障を来して危険な状態である。
この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?
イ) 地域懇談会で事業進捗を促進(スピードアップ)して欲しいとの要望あり。 ロ) 地元議員より事業量が落ちたので改善(工事量の増加)して欲しいとの要望あり。

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
道路の新設・改修を実施することにより、道路を利用する人々の利便性(移動の効率化)を確保する。	道路管理者の責務として、道路を利用する人々の安全性・利便性を確保することは重要である。	道路管理者の責務として、道路の新設・改修等を行うことは当然であり、対象と意図は妥当である。
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
特に向上の余地はない。	道路管理者の責務として、危険な道路の改修等を行うことは当然であり、事業の中止・廃止は出来ない。	特に類似事業はないので統廃合はない。
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
最小限の経費で実施している。		事務事業として効率的に進めている。
道路は不特定多数の人々が利用するものであり公平であるため、受益者負担はもとめられない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 当初計画の事業期間は、5年程度と予定していたが、財政健全化により、事業期間を繰り延べして10年間に変更した。このことにより事業の進捗率は低下したが、時間を掛けることにより、少しでも事業内容の改善を図っていき																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)	(5) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要 																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策 																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	(2) 評価結果の根拠と理由 橋建設についても、経費比較をして計画推進しており、適切な事業運営である。																					
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)	(4) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項 事業の早期完成を目指してコスト増額した場合、一般道路費用が抑制される。一般道路と平行して事業を進めていくため現状維持である。																						